



撮影：佐々木隆二

井上ひさし研究会を 設立します！

井上ひさし関連の講座・講演・企画展・研究
発表、出版などの情報を発信していきます。

「井上ひさし研究会」設立メッセージ 今村忠純（大妻女子大学名誉教授）

万卷の知恵のつまった二十二万冊の書物の運びこまれていく遅筆堂文庫、ここを拠点に井上ひさし研究会が設立されます。

小説と戯曲の両道を行き、評論や随筆にもなるもののない力量を示し、護憲平和と反戦を説き「九条の会」の呼びかけ人の一人、そして言論界でも重きをなした井上ひさし。

井上ひさしの笑いと涙は放送作家、コント作家として、またおびただしい量の短編、中編、長編小説に提示され、日本および日本人の中心にある諸問題を演劇の言葉と音楽とのこのうえない調和に見出し、こうして小説家と戯曲家としての仕事は、ちょうど車の両輪のようにカブよく駆動しつづけました。

「ほんとうの戯曲家」とは、その名前で民衆を劇場に引き寄せ、独特の思想と技術によって舞台の生命を創造しながら、民衆とともに愉しむことのできる才能をいうのである、とかつて岸田國士が書いたことがあります。

井上ひさしは、民衆に語りかける演劇の言葉を持つ「ほんとうの戯曲家」であつたばかりではない、民衆の言葉にもまた耳を傾け、民衆とともに愉しむことを知っていた「ほんとうの小説家」でもありました。

井上ひさし研究会は、井上ひさしの遺した数知れない言葉の宝石を読みかえすことによって、その一人一人が宝石の所有者になろうとおもいます。

入会は下記の条件を満たしている
方ならばどなたでも入会できます。

井上ひさしの本を読んだことがある方もしくは井上芝居を観たことがある方

後日、研究会の入会案内文書をお送りしますので、ご希望の方は裏面に必要事項をご記入の上、郵送またはファックスしてください。

<設立呼びかけ人>

井上ユリ（井上ひさし夫人）、浅田次郎（作家）、今村忠純（大妻女子大学名誉教授）、生方卓（明治大学教授）、小池光（歌人、仙台文学館館長）、小森陽一（東京大学大学院教授）、島村輝（フェリス女学院大学教授）、高橋敏夫（文芸評論家）、出久根達郎（作家）、富岡幸一郎（文芸評論家、鎌倉文学館館長）、成田龍一（日本女子大学教授）、馬場重行（米沢女子短期大学教授）、山口昭男（前岩波書店社長）、山下惣一（作家）、吉岡忍（作家、日本ペンクラブ会長）<50音順 敬称略>

事務局

遅筆堂文庫
(川西町フレンドリープラザ)

〒999-0121 山形県東置賜郡川西町大字上小松 1037-1
TEL0238-46-3311 fax0238-46-3313
Email: project@ms5.omn.ne.jp